

# 付属のタッチコントローラーを ワンタップで瞬時に WEB会議をスタート。 参加者全員の顔と声をきれいに 届けることができる、 オールインワンの会議システム。



日本に本社を構え、アメリカ・シンガポール・ブラジルに支社をもち、世界4か国で展開するインキュベイトファンド株式会社。スピード感をもって事業を進めるために、国をまたいだWEB会議が頻繁に行われている。もともとは、他社の360°カメラ内蔵のスピーカーフォンを使っていたものの、音質・画質ともに満足とはいえない状態だったという。そこで、オフィス移転を機に、新しいシステムを検討することに。同社オフィスマネージャーの新津さんと、販売店である株式会社映像システムの大野さんにお話を伺った。

## タッチコントローラーをワンタップするだけ。 10秒もかからずに会議が始められるように

「弊社では毎日、WEB会議がぎちぎちに詰まっているんです」

そう語るのは、同社オフィスマネージャーの新津さん。WEB会議において、感じていた課題を伺った。

「従来のシステムでは、まずPCを会議室にもっていき、スピーカーフォンに接続する必要があるため、会議を始めるまでに3~5分ほど時間がかかっていました。これはとても無駄な時間です。また、音量や話すタイミングによって、うまく声を拾うことができず、コミュニケーションに弊害がよく起きていました」

同社は、オフィス移転を機にシステム刷新を決意。いくつかの製品を検討したうえで選ばれたのが、Jabra PanaCast 50 Video Bar Systemだ。導入した感想を聞かせてくれた。

「会議室にあるタッチコントローラーの参加ボタンを押すだけで、すぐに会議を始められるのは衝撃的でした。10秒もかかりません。また、弊社はGoogleカレンダーを使って、会議の日時設定と会議室の予約を行っています。その連動もスムーズで、とてもありがたいです。さらに、マイクの性能にも驚きました。会議の参加者が多く、声が小さな人がいたり、同時に複数人で話したりすることがあります。それでも、すべての声をきれいに拾ってくれるんです」

### COMPANY

Customer : インキュベイトファンド株式会社  
Website : <https://incubatefund.com>  
Country : 日本

### PROFILE

「志ある起業家の挑戦を、愚直に支え抜く」をモットーに、創業前後のシードステージに特化したベンチャーキャピタルであるインキュベイトファンド株式会社。2010年に設立以来、総額1,280億円以上の資金を運用し、関連ファンドを通じて400社以上へ投資活動を行う。その実績は、国内最大規模。時には縁の下の力持ちとして、時にはスクラムを組んで、共に事業を創造していくことが、同社ならではの起業支援だと考え、起業家の良きパートナーとしてスタートアップ企業を支えている。

### SOLUTION

#### PanaCast 50 Video Bar System

■製品番号 8501-232

#### 課題

- 会議開始までに時間がかかる
- 声がきれいに届かない
- 配線が煩雑

#### 導入後の成果

- 10秒ほどで会議が開始できる
- 小さな声でも、複数人で同時に話しても、はっきりと声が届く
- 配線が卓上に露出せずすっきり





## どんなレイアウトの部屋でも 参加者を全員映すことのできる180°カメラ

オフィス移転の際、同社がシステムの相談をしたのが、販売店である株式会社映像システムだ。システム提案にあたり、どんなことを考慮したのかを、株式会社映像システムの設計統括部 設計1課、大野さんに伺った。

「まず、新しいオフィスの会議室のレイアウト図を見せてもらいました。すると、会議テーブルの位置が壁に近い会議室が多かったんです。そのようなレイアウトの場合、カメラに全員を映すことがむずかしい製品がほとんど。しかし、PanaCast 50 Video Bar Systemは180°の画角なので問題なく解決できると思い、提案に至りました。また、新しいオフィスはデザインにもこだわっていると伺ったので、スタイリッシュさも必要でした。PanaCast 50 Video Bar Systemは、カメラ・スピーカー・マイクが一体型でシンプルなデザインかつ省スペース。配線が少なく、卓上に露出することもないため、ご要望に沿うことができました」

それを受けて、新津さんはこう語ってくれた。

「限られたスペースのなかで、近い人も遠い人もきれいに映してくれる180°カメラはとても魅力的でした。さらに、人数に合わせて画角を自動調整する機能や、話し手を判別してズームする機能などもすばらしいです。デザイン面も申し分なし。配線が見えないスタイリッシュさも気に入りました」

## 高いコストパフォーマンスと アップデートによるさらなる利便性向上

コスト面についても、新津さんに伺った。

「弊社が使用しているZoom Roomsに対応しているほかの製品の場合、PCとセットで購入する必要があります。しかし、PanaCast 50 Video Bar SystemはAndroid OSが搭載されているため単体で完結し、ほかの製品と比べて価格が1/3程度。今回、複数台を導入したので、大幅なコスト削減ができました。またZoom Roomsだけでなく、Google Meet、Microsoft Teams、Webexなどにも対応している点もコストパフォーマンスが高いと感じます」

加えて、今後Jabraに期待していることについて、コメントをいただいた。

「PanaCast 50 Video Bar Systemはファームウェアのアップデートにより、どんどん進化していくと聞いています。例えば、BYOD\*への対応やカメラ機能の向上など。特にカメラについては、設定した部屋の大きさの範囲内のみ人が映るようになるのは、すごいアップデートです。ガラス張りの会議室や仕切りのない場所で、とても重宝されると思いますので、楽しみにしています」

最後に、社内で起きた予想外の活用法についても教えてくれた。

「PCとモニターをケーブルでつなぐと、プラットフォームにログインすれば簡単にPCの画面共有ができるため、対面の会議でも活用されているようです。非常に好評で、導入して本当に良かったです！」

\*BYOD: Bring Your Own Deviceの略。個人が私物として所有しているPCやスマートフォンを業務に使用することを指す。アップデートによって、ビデオバーとPCをケーブル1本でつないで利用できる機能が追加される。

In cooperation with

# INCUBATEFUND

Jabra Case Study - インキュベイトファンド株式会社

